

横浜クリニック — 開院10周年 —

【開院10年を迎えて】

2012年7月15日(日)に神奈川歯科大学附属横浜クリニックは開業「10周年」の節目を迎えました。初代センター長寺中敏夫先生、2代森實敏夫先生、3代吉田和市先生、そして現在の院長井野智先生と4名の先生がそれぞれの特徴を持ち診療、研修を通じて歯科医療における社会還元を推し進めて参りました。10年を振り返ると開院当初は如何に地域の医療施設として近隣に溶け込むかが大きな課題となっておりましたが、年々

順調に患者数も増加し、1日来院患者数も400名程度で安定する状態に推移しております。歯科の紹介率50%程度を維持し、地域に信頼される医療機関としての地位を築きつつあります。常勤医20名程で出発した横浜クリニックも現在は100名の規模に拡大し、ここ数年間10億円前後の収入規模で推移しております。ただし、収支均衡はまだ達成しておらず、現状での課題は、医科診療科の知名度の向上と医科・歯科ともに収益性を考慮した患者の受け

いれ体制の強化です。開院以来の10年間は医療機関としての基礎体力作りが大きな課題で、日々患者様の満足度が高い歯科医療の提供を続ける事で手一杯でした。時には大きな問題が起き、荒波にもまれることもありましたが、勤務者一同の奮闘と関係者の皆様のご支援で何とか乗り切り、元気で勢いのある医療施設として前進してまいりました。

平成18年4月からは本施設の大きな事業の一つである臨床研修歯科医の受け入れを開始し、本年までに136名の研修医を育成し、充実した研修環境で歯科界に有

用な人材を多数送り出しております。他校からも33%の比率で採用し、北海道医療大学から鹿児島大学まで文字通り日本全国からの研修医を受け入れる施設として他大学もうらやむほどの研修プログラムを構築することができました。本年4月からは全身を管理する歯科医療機関として渡邊浩之先生をお迎えし上部・下部内視鏡検査室・地域医療連携室の設置を初め消化器内科・循環器内科・糖尿病代謝内科などの診療科標榜を含めた組織改革を進めております。

10年間横浜クリニックを支えてくださった皆様に感謝申し上げますと共に、現役中に鬼籍には入られた元副センター長齋藤隆嗣先生、栗原多恵元衛生士長の御霊やすかれとお祈り申し上げ、逼塞した時代に負けず10周年という大きな節目を迎えた時に、変化の時代である事を前向きに捉え、今後、更なる発展を遂げるべく勤務者一同で励んで参ります。



開院10周年記念祝賀会

【10周年記念事業】

10周年を記念して大腸がん検診と公開講座及び無料歯科相談会を企画しました。大腸がん検診は、従来の上部消化管に下部消化管の内視鏡が導入された事から、大腸がんの啓蒙活動とし

て、当院クリニックの患者様、及び地域住民の皆様、協力されている歯科医院の皆様を対象として広告いたしました。便潜血反応2回法を希望された皆様に受けていただきましたが、広告約2週間で50名弱の方が希望されました。

公開講座は、時代のニーズに合わせて、医科部門3講座(内科、眼科、耳鼻いんこう科) 歯科2講座(1講座は、内科と共に行います。) いずれも各テーマを得意とする講師の諸先生をお迎えいたします。内容は、一般の方から医療

関係者の方にも興味を持って戴ける様になっております。無料歯科相談会は、小児・矯正歯科の協力を得て9月1日(土)に行いました。この企画を通して、横浜クリニックは、地域医療に対してより貢献したいと考えております。

売店リニューアルオープン！

7月17日(火)、横浜クリニックでは10周年を契機に、院内の売店をリニューアルオープンしました。歯科・医科用品のコンビニ「DENTAL PLAZA」と名称も改め、正面玄関入口すぐそばに移転した店内は、全面ガラス貼りの

明るい雰囲気と、豊富な歯科用品がわかりやすく配置されております。7月末までは、オープニング記念と題し、売れ筋商品の歯ブラシや歯間ブラシ、マスク、消臭剤等のセール販売を実施し患者様から大変好評を得ました。今後は、

現場の衛生士や看護師等と連携をとりながら、より充実した売店を目指していく予定です。横浜クリニックへお越しの際にはぜひご利用ください。



新任挨拶



神奈川歯科大学
顎顔面診断科学講座
放射線分野教授
櫻井 孝

混沌から興隆そして 更なる飛翔を目指して

日本経済を巻き込む世界経済の混沌、少子化による18歳人口の減少、そして歯科医療職の人気低迷など、私立歯科大学を取り巻く環境の厳しさを列挙するに事欠きません。私が大学院生として本学の歯学研究科に入学して以来、既に20年以上の歳月が流れ去りました。その間、法人幹部

による不祥事が発覚し、大学経営破綻の危機まで懸念されるような時期がありました。また、本学も18歳人口の減少による大学における入学者確保困難の渦から逃れる事が出来ず、ここ数年は入学者定員割れの状況を生じて参りました。しかしながら、現在の理事会が発足して間もないにも関わらず、既に大学の経営状態は大幅な改善を遂げ、法人全体における収支の黒字化が達成されました。更に経営が非常に難しいとされる大学の附属病院においてさえも、新病院長の下、収支均衡が取れるまでに経営状態の改善がなされるに至っています。また、超就職難時代を背景として、有資格職である歯科医療職の人気も徐々に回復の兆しを示し始め、一昨年より歯学部志願の高校生数が少しずつではありますが増加

して参りました。まさに、本学における混沌の時代は終焉を迎え、次の時代に向かって興隆の時代が訪れた感があります。このような状況の中、私こと、鹿島勇現理事長の後任として、顎顔面診断科学講座放射線分野の教授職を拝命いたしましたことは、誠に身の引き締まる思いで御座います。

昨年度は、大変僥越なことながら6年生の学年主任と卒業対策委員会委員長を兼務で経験させていただきました。私の力不足があり、過去を上回る成績を残すことは叶いませんでしたが、立派に歯科医師国家試験合格を果たしてくれた学生達は、その多くが臨床研修歯科医師として現在附属病院で一生懸命研修に励んでおります。彼らの努力する姿や笑顔を見る度に、彼らこそが自分の誇りであり、宝であると感じている毎日であります。大学から羽ばたき、他の施設で研修を受けてい

る学生達も、必ず一生懸命研修に励み、立派な歯科医師に成長してくれるものと信じております。今年度は、5年生の学年主任と共に、6年生の卒業対策委員、4年生、3年生の科目担当責任者を拝命しておりますが、全ての学生が立派な歯科医師として成長できる教育を目指して努力して参る所存であります。

同時に、これまで従事してきた放射線科診療科長、今年度から新たに拝命した副病院長として、診療業務の発展に最大限の貢献を果たすと共に、研究の充実を図り、大学院教育による後継者育成に尽力して参ることにより、興隆の時代を迎えた我が大学が、一気に飛翔するための礎になりたいと考慮する次第です。

誠に微力、浅学の身ではございますが、何卒皆様の御厚情と御助力を賜りますよう御願ひ申し上げます。



神奈川歯科大学
顎口腔機能修復科学講座
有床義歯補綴学分野教授
玉置 勝司

顎口腔機能修復科学講座有床義 歯補綴学分野教授就任にあたり

このほど、平成24年4月1日付けで、顎口腔機能修復科学講座有床義歯補綴学分野教授を拝命させていただくことになりました13回生の玉置勝司です。教授就任にあたり、皆様にご挨拶させていただきたく存じます。

1. 補綴学教室を振り返り

昭和57年4月(1982年)、私は青木英夫教授が主宰する補綴学第3講座の第一号の助手として入

局させていただきました。その当時、補綴学第1講座には松尾悦郎教授、第2講座には浮谷實教授がいらっしゃる、三教授が上手に補綴学教室をまとめていらっしゃいましたことを思い出します。松尾悦郎先生からは顎機能検査の必要性をご理解いただき、顎機能検査室を開設していただき、浮谷實先生には私の学位論文取得に多大な労を取っていただき、主任の青木英夫先生からは、日本のみならず、海外を経験し広い視野を持つことの重要性をご指導いただきましたことを、また、三教授の後継者として補綴学をまとめられました豊田實教授には、先を見据え、“咬み合わせリエゾン診療科”の設立にご理解いただきました。これまでの補綴学教授に対し、心より感謝申し上げます。

2. これからの補綴学教室

教育：現在の補綴学の講義、実習の手法は補綴学教室を作りあげ

た三教授の素晴らしい遺産をベースに継続してきたように思います。しかしながら、30～40年が経過した今、これからの学生のために、新たな手法を上乘せなければいけない時期になったと思います。それが、今回、私に与えられた使命であると強く感じております。現在、来年度の新カリキュラムが総合教育部で構築されつつありますが、この機会に、講義、実習形体を新たなものとして構築したいと考えています。

研究：臨床での未解決部分に積極的にアプローチしたいと考え、特に患者の口腔内の複雑な反応の解明に全力を尽くしたいと思えます。基礎系臨床系の密接な協力関係を構築し、最終的には患者の満足が得られるような臨床体制の構築に役立つ研究を展開したいと思えます。

臨床：有床義歯が神奈川歯科大学附属病院の1つの顔になるよう

な、そして患者の立場に立った歯科治療を提供できるよう診療システムを構築したいと考えています。例えば、咬み合わせのことで心理的に落ち込んでいる。そのような患者をメンタル的にもサポートして、必要に応じて最小必要限の歯科治療でQOLの向上を目指す。また、長年義歯で悩んでいる患者に対して、神奈川歯科大学独自の義歯製作システムにより、咬める質の高い義歯治療を提供したと考えています。

3. 皆と一緒に母校のために

私はこれから、神奈川歯科大学卒業の素晴らしい臨床家の先輩方から、教育、研究、臨床に関する現場のご意見を頂戴しながら、神奈川歯科大学の学生のため、また歯科医療を受ける国民のために私に残された12年間を一生懸命に過ごしたいと考えています。今後とも、宜しくご指導の程お願い申し上げます。

厚生労働大臣表彰 鈴木幸江先生が授賞

湘南短期大学歯科衛生学科鈴木幸江教授は、以下の功績がみとめられ、厚生労働大臣表彰を受けられました。授賞式は、日本歯科衛生士会創立60周年記念式典にて行なわれました。

《功績》長年に亘る教育実績と3年制教育を充実させた。公益社団法人日本歯科衛生士会の国、県、関係団体の受託事業に積極的に参加し、県民に対する歯科保険の普及向上が円滑に行なわ

れるための、会員の資質向上を目指し指導育成した。日本歯科衛生士会、日本口腔衛生学会、日本教育学会、日本咀嚼学会、日本歯周病学会他、多数の関連学会に所属し、そこで得た知識・技術を学生教育及び県民の歯科保険の普及の向上に反映させた。



平成24年度弓削朝子研究奨励賞受賞者、宮本千央先生に決定

本年4月、弓削朝子研究奨励賞の募集(第8回目)を行いました結果、8名の応募がありました。神奈川歯科大学弓削朝子研究助成委員会、教授会の議を経て、受賞者が決定いたしました。【平成24年度弓削朝子研究奨励賞受賞者】

薬理学：宮本千央 特別研究員／研究課題：CXCL14/BRAKの発現・分泌を標的とした新規多剤併用療法の開発／研究奨励金：30万円
※弓削朝子研究奨励賞
神奈川歯科大学名誉教授
でいらした故弓削朝子先

生からの寄贈基金によって運用されている学内研究者を対象とした研究奨励のために支給される補助金です。

本学の学術研究のために多大なるご寄附を賜り、故弓削朝子先生並びにご親族の皆様様に心より感謝申し上げます。



平成24年度「神奈川県警察協力歯科医研修会」開催される

平成24年度の研修会は、7月26日(木) (講演)と7月29日(日) (実習)の2日間の日程で開催しました。第1日目の7月26日(木)は、午後1時より午後6時まで、神奈川県歯科医師会館地下大会議室において開催され、参加人数は138名(警察協力歯科医57名、警察関係者30名、救急医療委員会9名、一般会員28名、その他14名(自衛隊横須賀病院、海上保安庁、広島県歯科医師会)でした。午前は、実習室にて「デンタルチャートの作成と重要性について」と題する講義が行われ、午後は実習室及び解剖棟にて実習・実技が行われました。実習室では「頭蓋骨とファントムを用いた口腔内写真撮影実技」、「デジタルエックス線写真撮影実技」、「頭蓋骨及

び生前／死後ファイルを用いたデンタルチャート作成と照合実習」、「仰臥位パノラマX線撮影実習」を行いました。一方、解剖棟では、実際の遺体2体を用いて、デジタルエックス線写真撮影及び死後のデンタルチャートの作成実技を行いました。

東日本大震災を契機に、身元確認(個人識別)に関する意識が高まったこともあり、昨年同様114名に及ぶ多数の参加者を集めた、非常に有意義な研修会となりました。さらに、全国で内容が最も充実している本研修会には、毎回他県からの見学者が参加し、今年は広島県歯科医師会から数人が訪れました。

6月22日の官報にて、「死因究明等の推進に関する法律」及び「警察等が取り扱う死体の死因又は身元の調査等に関する法律」が正式に

公布されました。この背景には「死因究明制度の不備に起因する犯罪の見過ごし」と、昨年の「東日本大震災を契機とした、歯科による身元確認(個人識別)の重要性」があります。そして特筆すべきは、法律の条文に「歯科医師」の文字が入ったことです。身元確認(個人識別)には歯科医師の存在が欠かせないということが認識されつつあることの証です。南海トラフ巨大地震を始め、将来必ずや起きるであろう大地震に備え、身元確認(個人識別)に携わる歯科医師を養成するこの研修会が今後益々発展することを切に望みます。

実習にあたり、解剖棟の使用を快諾して頂いた、本学人体構造学講座解剖学分野高橋常男教授ほか、関係者の皆様方に厚く御礼申し上げます。



1日目(神奈川県歯科医師会館)



2日目(本学実習棟及び解剖棟)



全学合同防災避難訓練の実施

東日本大震災を経て、本学における「防災意識」は飛躍的に高まりました。横須賀市との防災協定を始め、非常放送設備の設置など数々の施策・対策を実施し、その集大成である全学合同の防災避難訓練を、6月29日(金)に実施致しました。この避難訓練は、全教職員・全学生のみならず、附属病院と構内業者等を含め、延べ1,300人が対象です。実施にあたっては、短大、附属病院の全面協力のも

と防災委員会が中心となり、活発な意見交換を行い、想定される諸問題を関連部署と協議し、細部に渡る綿密な計画を立案し訓練のシナリオが完成致しました。

訓練は午後12時、本部棟屋上に設置した非常放送より、「震度7強の直下型地震発生」の放送を合図に開始しました。3分後、揺れが収まった事を確認し、集合場所である本部棟裏広場に一齐に避難が始まりました。特に留意し

たのは学生の動線です。有事の際、学生および患者様の安全が最優先されます。一抹の不安がありました。担当教員の誘導で速やかな避難が出来ました。全て避難を終えたのが12:15分、当初予定していた30分を大幅に短縮することができました。整列場



所の明確化・病院関係者の避難場所の一考・講評が聞こえないなど細かい反省点はありますが、全体として大変スムーズで、そのまとまりの良さに感動すら覚えました。12:20分、佐藤防災委員長から講評を頂き、全学防災避難訓練は無事終了致しました。



公開講座のお知らせ

神奈川歯科大学 公開講座 (受講料無料)

- ★10月18日(木) 「ケガ予防のための、自宅のできる体系チェック～自身の関節の固さを知ろう～」※1
14:00～15:45 川上正人(神奈川歯科大学体育学准教授)
- ★10月28日(日) 「歴史を通じて学ぶ～古代の顔・現代の顔・そして未来は～」
13:30～14:30 馬場悠男(国立科学博物館人類研究部名誉研究員)
- ★10月28日(日) 「アンコール遺跡に魅せられて～ローマからアンコールへ～」
15:00～16:30 石澤良昭(上智大学特任教授・上智大学アンコール遺跡国際調査団団長)
- ★11月8日(木) 「お口の健康で健康寿命を延ばそう」※1
14:00～15:45 出口眞二(神奈川歯科大学歯周病学教授) ※1は予約制です。

〈お問合せ〉神奈川歯科大学学術交流委員会 TEL 046-822-8807 HP <http://www.kdcnet.ac.jp>

横浜クリニック 開設10周年記念 公開講座

- ★9月8日(土) 「“あなたのいびき大丈夫?” 睡眠呼吸障害をふまえて」
14:00～14:50 竹田昌彦(相模原協同病院耳鼻咽喉科副部長)
- ★9月29日(土) 「3D映画「アバター」を見てあなたの目の異常を見つけましょう」
15:00～16:00 原 直人(神奈川歯科大学附属横浜クリニック眼科学講座教授)
- ★10月26日(金) 「知っていますか? 気付かないうちに進行する糖尿病と歯周病」
18:30～19:30 田村 利之(神奈川歯科大学附属横浜クリニック副院長・歯周病専門医)
安岡比呂子(神奈川歯科大学附属横浜クリニック糖尿病専門医)
- ★11月12日(月) 「大腸がんの診断と治療」
19:00～20:00 大塚 和朗(東京医科歯科大学附属光学医療診療部)
- ★12月1日(土) 「口の渴ききになりませんか? ドライマウスの原因と対処法」
14:00～15:00 藤林 孝司(神奈川歯科大学客員教授)

〈お問合せ〉神奈川歯科大学附属横浜クリニック地域医療連携室 TEL 045-313-5047(直通)・045-313-0007(代表)

今年もジャカランダが咲きました

短期大学校舎前のジャカランダが6月中旬から咲きはじめました。今年は梅雨の時期が涼しく、残念ながら花の数は多くありませんでした。それでも毎年楽しみにされている方も多く、たくさんの方が来学されました。歯科大学ホームページ内でもジャカランダの花についてと、開花情報を発信していますので、興味のある方は是非ご覧ください。



教育環境整備充実のための寄付金募集

「教育環境整備充実のための寄付金」を下記の通り募集します。

募金目的: 教育研究の充実、学生支援の充実、キャンパスの整備等 募金期間: 随時 募集

対象: 教職員、同窓会、学生の父母、企業、団体、篤志家 募金金額: 3,000円以上 申込方法: 本学所定の払込取扱票(振込通知書)をご請求ください。

問合せ先: 神奈川歯科大学広報関連室 担当: 田村 / TEL 046(822)9690 FAX 046(822)9317 E-mail: hiroomit@kdcnet.ac.jp

神奈川歯科大学 韓国人留学生Bコース紹介

神奈川歯科大学は平成23年9月に韓国高麗大学間で単位互換提携協定に締結し、本年度第1期生(Bコース)10名を迎えました。Bコースは、韓国人新入生の中で修学能力はあるものの、日本語の語学力が不足している学生たちのために設けられたコースです。第1期生10名は4月から高麗大学で神奈川歯科大学1年生として科目単

位と日本語能力を習得中です。カリキュラムは本校とほぼ同一ですが、日本語関連の授業が週15時間ずつ追加され、学生の授業量は一般的な大学生の2倍ほどとなっております。そのため、サークル活動は難しい状況ですが、オリエンテーションをはじめ、MT(合宿)や大学祭参加など、様々なキャンパスライフを楽しむことが出来

ます。

現在、Bコースの学生10名は、家族のような和気あいあいとした雰囲気の中で学業に専念しており、特に年内に日本語能力試験1級を取得するという決死の覚悟をもって全員が日

本語学習に最善を尽くしております。Bコースの学生たちは皆、韓国での1学年課程を無事成功裏に修了し、一日も早く日本へ行って、クラスメイトたちと共に勉強する日を指折り数えて待っております。



高麗大学前



高麗大学授業風景

【Bコース サマーセミナー】

神奈川歯科大学Bコースの学生は、8月30日(木)から9月5日(水)の間、神奈川歯科大学学生と合流し、合同集中講義と学生交流を行いました。2年生進級時に韓国から本学へ合流する為、1年間で講義を受けられるレベルの日本語を身につけなければなりません。その為、日本にて生の日本語で行われる授業を体験することを目的とし、サマーセミナーを実施しました。歯学概論と同実習、解剖学入門、社会歯科学、薬理学、生化学、生理学、歯内療法、細菌学の特別授業を行いました。さらに、通常の1年生正規授業の化学、解剖学、生物学授業にも参加しました。

担当教員はまだ日本語を勉強し始めて半年位しか経っていないBコース学生を配慮し、なるべく分かりやすく説明、韓国語及び英語の翻訳を付けるなどの工夫をされていました。

授業終了後のアンケート結果によると、「今回の夏休特別授業を通じて、日本語で行われる講義のイメージが湧いてき

た」、「日本語学習においてモチベーションが向上した」と回答があり、Bコース学生にとって貴重な経験となりました。また「現場で受ける生の日本語の授業は、スピードが早いと感じたので、これからは聴解の勉強に力を入れる」という反省点及び

目標を立てていた為、今後Bコース学生の日本語能力の向上が期待されます。

さらなるBコース学生の日本語能力向上の為に10月から韓国へ教員を派遣し、講義を予定しています。

さらなるBコース学生の日本語能力向上の為に10月から韓国へ教員を派遣し、講義を予定しています。



実習風景



本学での授業風景

Tae-Yeol Seo 高麗大学院長来校

Bコースのサマーセミナー期間に、高麗大学からTae-Yeol Seo 大学院長、Jin-Hwa Bae 教授、および本学 Hyun-Jung Shin 特任教授が来校されました。

同行した3名は本学到着後、鹿島理事長、佐藤学長と会談後、学内を見学し学生実習棟、附属病院、および解剖学資料館で本学の教育施設、診療施設に感銘し、同時に学内教育環境の充実度に感心していま

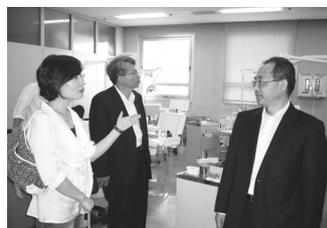
した。学内見学終了後、一行3名は理事長室で日本文化に直接触れるサプライズ機会を体験し、和服姿のまま夕暮れの葉山に連行(招待)され日本食文化を堪能しました。Tae-Yeol Seo 大学院長は帰国後、神奈川歯科大学と高麗大協定締結後の教育目標到達に全面協力する約束と、日本文化を経験した喜びと大学教職員の歓迎に感謝の辞を評されました。



理事長室で記念撮影



人体解剖資料館を見学



附属病院を見学



鹿島理事長のサプライズ企画

教学部だより

歯学部

一 歯学体健闘！一

今年度の全日本歯科学総合体育大会は、鹿児島大学歯学部が事務主管を担当し8月1日に開会式が行われました。第44



軟式庭球部

回となる今大会から26番目の協議としてフットサル部門が正式に承認されました。本年度の総合優勝は日本大学歯学部、準優勝は日本大学松戸歯学部と日大の活躍が目立ちました。本学では軟式庭球部が優勝を果たし、アーチェリー部が2位と健闘しましたが、総合成績では21位でした。次年度第45回は日本大学歯学部を主管校に開催される予定です。

短期大学

湘南短大の海外研修 韓国で大学生と交流

学生38名 研修とショッピング楽しむ！！

2012年度湘南短期大学「海外事情Ⅱ」カリキュラムに基づく第1回韓国研修が8月9日(木)から13日(月)まで4泊5日で開催されました。参加学生は、歯科衛生学科28名、看護学科10名合計

38名。研修は、ソウル市内にある新丘大学(6学部25学科)歯科衛生科の学生80名との交流やソウル大学での授業聴講、医学博物館等の見学と幅広い内容となりました。特に、両校とも夏休み期間中でしたが、学生や教職員の協力でこれらが実現しました。

また、今年度は新丘大学歯科衛生科と本学歯科衛生学科間に「教育及び研修分野の交流」の協定書が交わされました。本学

からは荒川副学長が韓国を訪問し新丘大学ホ学科長と共に協約書に署名するセレモニーが行われました。学生達は、研修の他ソウル市内ミョンドンでのショッピングや世界遺産「昌徳宮」等観光スポットの見学を楽しんで無事帰国しました。引率教員：歯科衛生学科鈴木、看護学科平井(記事担当)



神奈川歯科大学 平成24年度入学試験一覧

試験種別	エントリー期間	実施日	内定発表日	出願期間
AO入学試験2期	10/24(水)~10/31(水)	11/4(日)	11/6(火)	11/6(火)~11/15(木)
試験種別	区分	出願期間	試験日	合格発表
推薦入学試験 (公募制・指定校制)	1期	10/24(水)~10/31(水)	11/4(日)	11/6(火)
	2期	11/7(水)~12/5(水)	12/9(日)	12/11(火)
卒業生子女入学試験 編入学試験 帰国子女入学試験 外国人留学生入学試験	1期	10/24(水)~10/31(水)	11/4(日)	11/6(火)
	2期	1/8(火)~1/21(月)	1/25(金)	1/29(火)
	3期	1/30(水)~2/13(水)	2/17(日)	2/18(月)
	4期	2/19(火)~2/27(水)	3/3(日)	3/4(月)
一般入学試験	1期	1/8(火)~1/21(月)	1/25(金)・1/26(土)	1/29(火)
	2期	1/30(水)~2/13(水)	2/17(日)	2/18(月)
	3期	2/19(火)~2/27(水)	3/3(日)	3/4(月)

- ・一般1期入学試験で成績上位者に奨学金を支給します。
成績上位1~3位：入学金を含む初年度の学費850万円を全額免除。
成績上位4~10位：歯学教育充実費355万円を免除。
成績上位11~40位：歯学教育充実費200万円を免除。
- ・一般1期入学試験は2回実施されます。2回受験しても検定料は1回分の4万円です。合格得点の高い何れかの受験日の成績で可否を判定し減免制度を適用します。
- ・卒業生子女入学試験、AO入学試験で合格され入学手続を取られた場合、奨学金として100万円を支給します(初年度納入金より同額を免除)。
- ・推薦入学試験合格者は一般1期入学試験の受験資格を与えます(希望者のみ)。成績によって上記の奨学金が適用されます。

湘南短期大学 平成24年度入学試験一覧

試験種別 【歯科衛生学科/ 看護学科共通】	出願期間 (必着)	試験日	合格発表		
推薦Ⅰ期 (指定校・公募)	10/1(月)~10/18(木)	10/28(日)	10/30(火)		
推薦Ⅱ期 (指定校・公募)	11/5(月)~11/16(金)	11/25(日)	11/27(火)		
一般	1/7(月)~1/18(金)	1/27(日)	1/29(火)		
特待生推薦	10/1(月)~10/18(木)	10/28(日)	10/30(火)		
社会人特別Ⅰ期	10/1(月)~10/18(木)	10/28(日)	10/30(火)		
社会人特別Ⅱ期	11/5(月)~11/16(金)	11/25(日)	11/27(火)		
試験種別 【歯科衛生学科】	エントリー期間	面談日	内定発表	出願期間 (必着)	合格発表
AO3期	11/19(月)~12/3(月)	11/26(月)~12/10(月)	12/13(木)	12/14(金)~12/20(木)	12/25(火)
AO4期	1/7(月)~3/11(月)	個別にお知らせいたします。			
試験種別 【看護学科】	エントリー期間	面談日	内定発表	出願期間 (必着)	合格発表
AO2期	11/19(月)~12/3(月)	12/9(日)	12/11(火)	12/14(金)~12/20(木)	12/25(火)
AO3期	1/7(月)~3/11(月)	3/14(木)	個別にお知らせいたします。		

- ※AO入試についての注意(歯科衛生学科・看護学科共通)
- ・AO入試のエントリーには、本年度オープンキャンパス体験授業を受講してください。
 - ・募集人員を超えた場合、募集を打ち切る場合があります。
 - ・打ち切りがある場合は本学Webサイト<http://www.shonan.ac.jp>にてお知らせいたします。
 - ・エントリー資格などの詳細は入試要項、HPでご確認ください。
 - ・入試要項・パンフレットは教学部へお申込ください。送料ともに無料です。